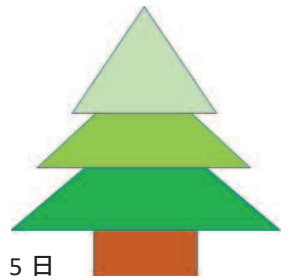




嵯峨宮頼り

2号



嵯峨宮：群馬県みどり市大間々町小平 348 番地

発効日：2018 年 11 月 5 日

発行：嵯峨宮世話人会

秋祭り 無事終了

十月十四・十五日は嵯峨宮の秋祭り、例年通りに催すことが出来ました。役員が新規になって階段の整備や外壁の修繕・塗装など役員を動員して自前で対応しました。

幟（のぼり）旗立は一週間前の十月七日（日）早朝小平に住む男性約二十人で行いました。巾約七十cm長さ約十mの幟を長さ十二mの旗竿に通し、先端には竹と榊の枝を取付けます。竿の根元をボルトで旗杭（はたくり）に通し、竿の中心にロープを結んで引き上げつつ人手と梯で慎重に押し立てていきます。真っ直ぐに立ったらもう一本のボルトで固定します。今回は好天に恵まれましたが、風があるときは一瞬の気も抜けぬ、まさに男の仕事になります。三年前の祭の時は台風が来て旗竿が煽られ石造りの旗杭がぼつきり折れてしまいました。嘉永と彫られていたので百七十年も昔に作られたものです。新しい旗杭は鉄骨製となりました。祭は、といってもカラオケは前日迄に終わっていて、当日は屋台も出しモノもありません。ただお祈りをし社殿で酒を酌み交わし世間話に花を咲かせます。それでも祭典寄付金や御神酒を奉納した人を貼り出した半紙で鴨居は二列三列と垂れ下がっています。嵯峨宮の祭の真骨頂は夜も更けてからです。役員が交代で泊り番をします。昔は深夜零時を期して赤飯を上げに多くの織物等糸偏を生業とする人々がお参りに来て、その対応が役割でした。織物業が衰退した今、誰一人来ないから泊り番は超ヒマです。昔は庚申待という村人が寝ないで明かす行事がありました。一晩中一緒にいるから話も尽きる迄話します。祭の話から始まり、昔のこと、仕事のこと、家の事など何でも出てきます。そして「隣の家の冷蔵庫の中までわかる」間柄、仲間になるのです。今年も定年後地元へ戻って来つつある御夫婦がお参りの後午前三時迄付き合ってくれました。夜明け近くになると護符の準備を始めます。今年の袋は嵯峨宮ラベルが貼られて格調高くなりしましたが、二軒減ったのが残念です。早朝のお参りの方が数人来て、午前中でお開きとなります。後片付けし課題を話し合い無事終了致しました。



平成30年10月7日嵯峨宮旗立

昔は深夜零時を期して赤飯を上げに多くの織物等糸偏を生業とする人々がお参りに来て、その対応が役割でした。織物業が衰退した今、誰一人来ないから泊り番は超ヒマです。昔は庚申待という村人が寝ないで明かす行事がありました。一晩中一緒にいるから話も尽きる迄話します。祭の話から始まり、昔のこと、仕事のこと、家の事など何でも出てきます。そして「隣の家の冷蔵庫の中までわかる」間柄、仲間になるのです。今年も定年後地元へ戻って来つつある御夫婦がお参りの後午前三時迄付き合ってくれました。夜明け近くになると護符の準備を始めます。今年の袋は嵯峨宮ラベルが貼られて格調高くなりしましたが、二軒減ったのが残念です。早朝のお参りの方が数人来て、午前中でお開きとなります。後片付けし課題を話し合い無事終了致しました。

石段補修、手摺設置

古い石段は地震でずれ、隙間に草が生え、保守が大変なので目地を埋めました。役員にはお茶とおにぎりで奉仕して頂きました。



又県道に面した石段は角度が急で昇り降りがきつく、神社への参詣を躊躇させる恐れがあるため手摺を設置しました。これも役員の御厚意で作って頂きました。

掲示板設置

嵯峨神社は地域の神社で、観光で来た方には由緒など判り難いため、掲示板を設置し説明文を掲示しました。



埋蔵祈願

嵯峨宮創設時の言い伝えに倣(なら)い埋蔵祈願を行う。山田郡誌の「里俗の説に昔嘉暦の際武士七名あり・この地に匿れ嵯峨神社を建立し・」で始まる小平の草創はこの嵯峨神社を創建することから始まる。他の資料では十二月に「書」数通を埋蔵して祈願したようだ。今から凡そ七百年も昔のことである。「始め小平(コダイラ)〜と言いつつ後小平(ラダイラ)に改めたり」のくだりは私達をその時代にタイムスリップさせてくれる。廃村あり、再興あり、飢饉あり、ガチャマン時代あり、そして今過疎化が急速に進ん



書：岩崎燦翠(孝子)さん
製作：星野哲男さん

でいる。今日も小平を代表する名家が取り壊された。嵯峨宮頼り第一号で「嵯峨宮も変わります」と宣言した。嵯峨宮が小平に在り続けるためには時代の変化に対応すべく自らを変えてでもチャレンジしなければならぬ。いかに変化するか悩ましく迷う。が、迷ったときの原則は「原点に帰れ」である。嵯峨宮の原点は祈願書の埋蔵に始まる。深く悩み迷い大望を祈念する人々と共に原点に帰ることとした。古例に倣い、祈願書を埋蔵して月日が経ち希望の芽が地上に出るときを祈りつつ。

「語らざる 願い地に埋め 春ぞ待つ」

祈願書の作成

- 1、用紙は嵯峨宮に設置する所定の用紙を使用します。環境への影響を配慮した薄い和紙です
- 2、筆記具は化学物質を含まない鉛筆や墨、炭などの素材を使用して、願文と氏名を書き込みます。
- 3、内容が見えないよう袋状に折り、化学物質を含まない糊・ご飯粒などで糊付けします。
- 4、祈願書に祈願料を添え封筒に入れます。
- 5、封筒を嵯峨宮のお賽銭投入口に差入れるか、世話人に渡します。



祈願書の埋蔵

埋蔵は古例に倣い十二月に行います。詳細日時は別途お知らせします。埋蔵場所は嵯峨宮境内地内です。今回は初めてですので多くの方々に参加して戴ける様祈願料は特別料金を設定します。

「語らざる」の作成者紹介

書… 岩崎燦翠(さんすい)氏、本名孝子、旧性穴原、太田市在住、年齢秘、小平出身、小学三年より宗像翠堂氏に習い、花翠会にて櫻井流翠氏に師事、師範、謙慎書道会理事、書道教室を開き三十余年。
製作… 星野哲男氏、茨城県常総市在住、年齢団塊世代、小平出身、会社を定年退職後福島県南会津「木こりの店」にて趣味の木工・彫刻・漆・轆轤などを勉強、小平に工房を持つ。

無駄取り

NHKで五才の女の子設定の人形が格好つける

大人に「ボーっと生きてんじやねーよ！」と啖呵を切る番組がある。

経済活動していない嵯峨宮の台所事情は数多(あまた)ある他の神社同様厳しく、無駄な消費は極力抑えねばならない。そんな中、固定資産税リストに地目「宅地」となっている境内地隣接の傾斜地がある。杉の木が一本生え、道境には崩壊危険区域の看板が立つ。建物も立てられない危険斜面が宅地？ 税務課に電話するとすぐ現況調査してくれた。これは山林ですね、来年から隣の境内地と同じにしましょう、ということが無税になった。昔は舞台があった様だがここ六十年何も無い。定期預金金利0.01%の時代、これは大きい。



(阿直)